

使徒の働き 8章 26-40節 最善のかたちで遣わされる証人

使徒の働きの冒頭では、十字架にかけられて、死んで、葬られて、蘇ったイエス様が、天に昇る直前にその後何が起こるのかについてこういっています。使徒の働き 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。ちなみに、今日の箇所ではサマリアにも、地の果てにも福音が届き始めます。その後、初代教会が始まってどんどん人が増えていきます。使徒 6章では、7人、執事、という実務的に教会で奉仕する人たちが選ばれて、教会はますます盛り上がって行きます。しかし、7章で初代教会に激震が走ります。7人の執事のうちの一人、ステパノさんが殉教します。殉職、つまり、イエス様を信じる信仰のゆえに殺されてしまったのです。こうしてクリスチャン達に対する迫害が始まり、使徒達以外の、初代教会の人々はエルサレムを脱出していろんなところで福音を伝え始めます。これが8章の冒頭です。読みましょう。使徒の働き 8:1b, 4b その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされ...みことばの福音を伝えながら巡り歩いた。こうしてエルサレムから脱出した人々のうちの一人が6章で選出された7人の内の一人で、今日の箇所に出てくるピリポさんです。8章の前半で、ピリポさんはサマリアに行って、そこで人々にキリストを伝えると、多くの人々が信じてバプテスマを受けました。

ここから今日の箇所、使徒の働き 8:26-40 です。聖書を持っている方は使徒の働き 8:26-40 を開いてください。まず簡単に今日の箇所をまとめますね。サマリアでたくさんの方が救われた事を喜び、感動していたであろうピリポに神様の使いが「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」といひます。ピリポが言われた通りに出かけて行くと、馬車はその道を進んでいるのをみつけます。当時、馬車は裕福だったり、偉い人が乗るものでした。現代でいうとリムジンみたいなものでしょうか。偉い人の機嫌を損ねてなんか罰せられたりする危険もあったので、庶民は普通馬車に近づきませんでした。でも、聖霊なる神様が「近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい」というので、それにも従いました。馬車に近づくと誰かが旧約聖書のイザヤ書の 53章を読んでいる声が聞こえたわけです。この馬車に乗っていたのは、エチオピアの女王、カンダケの財産の全てを管理している人でした。今の時代なら一国の財務大臣レベルの偉い人ですね。この財務大臣は宦官だったと書いてあります。宦官というのは、古代ギリシャ、ローマ、中国などの宮廷や貴族に仕えた、去勢された男子です。このエチオピアの宦官は、エルサレムに礼拝しに行って、帰る途中だったと書いてあります。もっと神を知りたいと思っていたのでしょう。ピリポは、神様にしたがって、この人に話しかけ、一緒に馬車に乗って、イザヤ 53章から初めてこの人に福音を語ります。そしてこの宦官はイエス様を信じて、すぐさま洗礼を受けます。そのあと神様がピリポを他のところに送ったので、ピリポはその場からいなくなると、宦官は救われた喜びを噛み締めながら帰って行きました。これが今日の出来事をざっくりとまとめたものですが、この箇所から何がわかるのでしょうか？今日のメインポイントを紹介します。神は、救いのために、最善のかたちで証人を送られる、が今日のメインポイントです。もう一回言いますね。神は、救いのために、最善のかたちで証人を送られる。神様は人が救われるための TPO 全てを把握して治めておられるってことですね。このメインポイントを踏まえて、今日は、この箇所からわかる、神の、証人の用い方に関する事実を3つみていきたいと思います。

それでは、まず神の、証人の用い方に関する事実1つめは…神は、証人自身があまり理解できない形で証人を用いられることもあるという点です。ちょっと考えてみると、このエチオピア人の救いは、タイミングも場所も、救われてる人も、もう、なんもかんも理解しがたいものでした。一個ずつちょっと考えてみましょう。使徒の働き 8:26-27a さて、主の使いがピリポに言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」そこは荒野である。そこで、ピリポは立って出かけた。まずタイミングですけど、さっきも触れましたが、サマリアでリバイバルが起こっていたんで

す。ピリポは、「え、今こんなに多くの方がイエス様を信じて救われてて、教会もきつとここで始まって、色々忙しいのに、なんで今？」と思ったんじゃないかなと思います。あと、場所ですね。ピリポが遣わされた場所、エルサレムからガザに下る道というのは、「そこは荒野である」と書いてあるとおり、何も無い場所です。横浜駅とか、みなとみらいに行ったら誰かとばったり合うかもな、とは思いますが、荒野はそうはいかないですね。ピリポがいきなさい、と言われた場所は、人間的に考えたら福音を伝えたい人が行く場所ではなかったんです。僕なら、「今リバイバル起きてるんだから、サマリヤにいたい！」と思っちゃいますね。

救われた人も特殊です。続きをみましょう。**使徒の働き 8:27b-28** **すると見よ。そこに、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の全財産を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。このエチオピアの財務大臣は異邦人、つまりイスラエル人ではなくて、しかも宦官でした。エチオピアは確実にユダヤ人からみて地の果てだったでしょう。ユダヤ教では、異邦人は救われる対象とは見なされていなかったし、去勢された人はユダヤ教の集会は出禁でした。つまりこのエチオピアの宦官は、ユダヤ人誰もが「この人は神に近づくことはできない。救われるはずがない」と思うような人物だった、ということです。ピリポと宦官の出会いは、人間的に考えたら、タイミングも、場所も、シチュエーションも、何もかも理解できないような出会だったんです。それでも神様は、宦官が乗った馬車が荒野を通るタイミングで、ピリポを証人として荒野に遣わし、福音を聞いた宦官は救われたんです。ピリポも予想していなかったサマリヤに福音が届いた直後に、地の果てにも福音が届いた訳です。神様は私たちの理解をこえた形で用いてくださいます。神は、救いのために、最善のかたちで証人を送られるのです。**

クリスチャンのみなさん、神様は、あなたが思っていなかった形であなたを用いようとしてたりしませんか？この場所？このタイミング？このシチュエーション？この人？みたいに思うことがあっても、証人の自覚を持って生きましょう。神の証人の用い方に関する一つ目の事実は、**神は、証人自身があまり理解できない形で証人を用いられることもある、**でした。

では二つ目の事実をみてみましょう。**神は証人を用いられる**ということです。これ、当たり前に見えますが、神様がわざわざ私たちを用いるのってすごくないですか？神は全知全能の神です。わざわざピリポを用いる必要はなかった。でも、神は証人を用いる方なのです。神様は、人々が神様を信じて救われるという奇跡を私たちにVIP席で見せてくださる。誰かが救われることに関わることができる、それを目の前で見る事が素晴らしい喜び、素晴らしい特権ですよ！では、私たちがさらに神様に用いられやすい証人になるためにはどうすればいいのかを、今日の箇所からみてみましょう。**使徒の働き 8:30-31;34** **そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいることが分かりますか」と言った。するとその人は、「導いてくれる人がいなければ、どうして分かるでしょうか」と答えた。そして、馬車に乗って一緒に座るよう、ピリポに頼んだ...宦官はピリポに向かって言った。「お尋ねしますが、預言者はだれについてこう言っているのですか。自分についてですか。それとも、だれかほかの人についてですか。」**

証人としての心得

1. 相手がどこが痒いのかを知ろうとする。

まずピリポは「読んでることわかります？」って質問してますね。相手がどこが痒いのかを知ろうとしてます。私たちも救われてほしい誰かと関わる上で、まずその人の状況、悩み、疑問などが、何なのかを知る必要があります。いきなり「あなた、今死んだら地獄に行きますけど、覚悟できてます？イエス様信じときますか？」みたいにいうのはあまりおすすめできないかなと思います。代わりに、

人々に耳を傾けましょう。良い質問をしましょう。その人は何が好きで、何が嫌いなのか。何に傷ついてきたのか。何に怒っているのか。何をおそれ、何を望んでいるのか。その人の大きな疑問はなんなのか？を知ろうとしましょう。実際に宦官はイザヤ 53 を読んでいて、それが理解できなかったのので、ピリポに質問していますね。

続きも読みましょう。**使徒 8:35** **ピリポは口を開き、この聖書の箇所から始めて、イエスの福音を彼に伝えた。**ここまで耳を傾けてから、初めてピリポは口を開いています。これが証人としての心得その二です。

2. 相手の痒いところから始めて、それから福音を語る。

ピリポは宦官が何を知りたいのかを理解してから、宦官が知りたがっていた箇所から初めて、福音を伝えてますね。相手の痒いところから初めて、福音を語るためには、耳を傾けることに加えて、福音を知っている必要がありますよね。福音をもっとよく知りましょう。福音を毎日自分に語りましょう。この教会にも、福音をもっと理解するためのリソースがいっぱいあります。「福音中心の人生」などのリソースを是非手に取って、一人で、もしくは誰かと読んでみてください。使徒の働きシリーズ「福音に歩む」はYoutubeで見ることができます。

三つ目、いきましょう。

3. チームの一員という自覚をもつ。

この宦官の救いには、もう一つ注目すべき点があります。ピリポが福音を語ると、この宦官はすぐに信じて、洗礼を受け、喜びながら帰って行ったと書いてありますね。結構簡単に信じんな。って思う人もいるかもしれませんが、これ、ピリポは収穫しただけなんじゃないかな、と個人的には思うんです。実際、誰かが救われるためには、その人の心の畑が耕され、種が蒔かれて、水やりがされて、それから収穫される必要があります。あつという間にイエス様を信じる人もいれば、何年もさまざまなクリスチャンと関わって、福音を何度も聞いてから救われる人もいます。特に日本では誰かがずっと昔に耕した畑に、また違う人が種を蒔き、またさまざまな人が水をやってきた人の収穫に関わることが結構あります。昔ミッション系の幼稚園に行ってた！とか、ホームステイ先で聖書に触れた！とか。昔クリスチャンの友達がいた！とか、そういう人が今もこの教会にきて、それから救われてますよね。私たちはどのポイントで誰と関わっているのかわかりません。でもチームの一員としてイエス様の愛を示していきましょう。この人あまりイエス様に興味なさそうだな！って思っても、失望しないで、愛を持って、相手に耳を傾け、チャンスがある時にはその人に福音を語り、次のチームメイトを神様が遣わされることに期待しましょう。とにかく、これら三つの証人としての心得を覚えておきましょう。それは、神様は証人としてあなたを遣わされるからです。神は証人を用いられるからです。

では三つ目の神の証人の用い方に関する事実をみてみましょう。神は救いのために全てを治めておられる。今日の箇所では、ピリポは自分で決めて行動しているのではなく、神様に従っています。読みます。**使徒 8:26, 29** **さて、主の使いがピリポに言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」**そこは荒野である...御霊がピリポに「**近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい**」と言われた。宦官の救いのために神様が働いておられることがわかりますね。人の救いに関して主導権を握っているのは神様なのです。私たちは変なプレッシャーを感じなくていいんです。私たちに求められているのは、神様の促しに従って、証することです。その人が信じるかどうかは、私たちの責任でなく、神の領域です。シカゴに住んでいた時にスタバで働いていたんですけど、そのスタバのディストリクトマネージャーのマイクさんは結構僕が働いていた店舗に顔を出してたんですけど、彼はもちろんノンクリだったんですけど、ある日「暁は本当にいい従業員だよ。あと暁が言ってる神学

校の生徒、他の店舗でも結構働いてるけど、みんないい従業員だと思う。なんで？」って聞いてきたんです。「イエス様を信じてるからです！」っていえばイエス様の話ができる！こんなにいいパスがノンクリからくるか？って質問ですよ。でもその瞬間の僕は頭が回らず、「うん、まあね、みんないい人になろうと頑張ってるのよ！」って言ってしまったんです。最低のエラーですね。大失敗です。ちょっとへこみましたけど、でも神様はマイクさんの心を僕も含め、さまざまな人を通して耕していたんだと思うし、今後も証人を送り続けるんだと思います。それは、**神は、救いのために、最善のかたちで証人を送られる方だからです。**この神様に信頼して、証人としての自覚を持って、覚悟を持って毎日をいきましょう。

一つみなさんにして欲しいのは、今週、自分がどうやって救われたかの証を実際に書いてみることをして欲しいです。誰にいつ「なんでクリスチャンなの？」と聞かれてもいいようにしておきましょう。そしてもう一つ、今日帰ったあと、来月教会に招待する人を4人思い浮かべてください。まずは、一週間に30秒、伝道のために用いるだけでいいんです。そして週に一人、これから先一ヶ月に4人、それを続けてみましょう。キリストの証人として生きていきましょう。

さて、ここまで聞いてきて、クリスチャンではないみなさんの中には、「いや、自分が救われるわけがない」と思っている人がいるかもしれません。「神が自分を愛するわけがない。」「自分にはそんな価値はない。」「自分の罪は神でも赦しきる事はできない。」とか、「自分には神を愛することも、信じることも無理だ。」と思っている人もいるかもしれません。でも、神様はあなたを愛しています。神様の恵みはあなたにも向けられていて、神様はあなたに必要な証人を遣わしてくださいます。今この場にあなたがいるという事実も神様がすでにあなたをご自身に引き寄せようとしておられる証拠と言えるでしょう。その事実を少し思い巡らしてみてください。また、宦官が読んでいた聖書箇所をちょっとみてみましょう。これはイザヤ53章で、イエス様が生まれる700年前に預言者イザヤがやがて現れるメシヤについて預言している箇所です。**使徒 8:32b-33 屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている子羊のように、彼は口を開かない。彼は卑しめられ、さばきは行われなかった。彼の時代のことを、だれが語れるだろう。彼のいのちは地上から取り去られたのである。**この箇所はイエス様についてはっきりと預言しています。イエス様はなんの罪も犯していないのに、ユダヤの宗教指導者たちに不当な裁判にかけられて、自分のことを全く弁明することなく、犯罪人のように十字架にかけられて処刑されました。なぜイエス様は無罪なのに口を開かなかったのでしょうか？なぜイエス様は卑しめられることを甘んじて受けたのでしょうか？なぜイエス様は死んだのでしょうか？それはあなたを罪の罰から救うためです。私たち人間は自力で罪滅ぼしをすることができず、神の怒りを受ける存在だから、イエス様が十字架での死を通して私たちの罪の罰を受けてくださったのです。でもイエス様は死んで終わりではなく、三日目に死から蘇り、今も生きておられます。イエス様をあなたの救い主として信じるなら、あなたも救われます。どうか、イエス様を信じてください。このメッセージを聞いてもう少しイエス様のことを詳しく知りたいな、と思った方はぜひ私や執事の方、日曜学校の先生、またこの教会のメンバーに聞いてみてください。あと、今週、一回クリスチャンの知人、友人に、「どうやってクリスチャンになったの？」と聞いてみてください。**神は、救いのために、最善のかたちで証人を送られる方です。**祈りましょう。

Acts 8:26-40 Witnesses Sent in Perfect Ways

In the beginning of Acts, just before his ascension to heaven, Jesus, who had already been crucified, died, buried, and resurrected, says this about what will happen next. **Acts 1:8 But you will receive power when the Holy Spirit has come upon you, and you will be my witnesses in Jerusalem and in all Judea and Samaria, and to the end of the earth.** Just a side note, in today's passage, we will see that the Gospel will reach both Samaria and the end of the earth. And after that the first church started and more and more people believed the Gospel and started coming to church. In Acts 6, exciting things start to happen in the church with the election of seven deacons who were appointed to serve the church in a practical way. However, in chapter 7, the early church receives a shock. Stephen, one of the seven deacons, is martyred. This means that he was killed because of his faith in Jesus. So the persecution of Christians began and many of the people in the early church, other than the apostles, left Jerusalem and began to preach the gospel in other places. And that is how chapter 8 begins. Let's read. **Acts 8:1b, 4 And there arose on that day a great persecution against the church in Jerusalem, and they were all scattered throughout the regions of Judea and Samaria, except the apostles... Now those who were scattered went about preaching the word.** In today's passage we read about Philip, who escaped from Jerusalem and who also happened to be one of the seven deacons elected in Chapter 6. In the first half of chapter 8, we read that Philip went to Samaria to tell about Christ and many people believed and were baptized.

And now, we'll look at today's passage, **Acts 8:26-40**. If you have a Bible please turn to Acts 8:26-40. First let's summarize the passage. Philip was probably rejoicing and moved because many people had been saved in Samaria when God's messenger said to him, "Get up and go to the south, and take the road from Jerusalem down to Gaza. As Philip goes to do as he was told, he meets a chariot going the same way. In those days, horse-drawn carriages were used only by wealthy and important people. Perhaps, it would be like a present day limousine. Commoners did not dare to go near horse-drawn carriages, so as not to risk being punished for offending whoever was riding the chariot. But God the Holy Spirit said, "Go over and join this chariot," and Philip again obeyed. As he approached the carriage, he heard someone reading the Old Testament Book of Isaiah, chapter 53. The man in the carriage was in charge of all of the treasure of Candace, the Queen of Ethiopia. In today's world, he would be very important, comparable to a country's minister of finance. It says here that this minister of finance was a eunuch. Eunuchs were castrated men who served the courts and nobility of ancient Greece, Rome, and China. It says that this Ethiopian eunuch had gone to Jerusalem to worship and was on his way back. Perhaps he wanted to know more about the God of Israel. Following God's instructions, Philip speaks to this man, rides in the carriage with him, and beginning with Isaiah 53, shares the Gospel with him for the first time. And the eunuch believes in Jesus and is immediately baptized. And then God sent Philip somewhere else, so Philip was gone and the eunuch returned home rejoicing in his salvation. That was a quick summary of today's passage, but what can we learn from this story? Here is today's main point: **God sends his witnesses in his perfect ways for salvation.** God is aware of, and sovereign over every Time, Place, and Occasion, salvation of each person. With this main point in mind, let's look at 3 facts about God's use of witnesses (like Philip) that we can see in today's passage.

The first fact about how God uses witnesses is... **God sometimes uses witnesses in ways they themselves don't really understand.** When you think about it, this Ethiopian's salvation was already hard to fathom in terms of timing, location, and the person being saved. Let's think of the obstacles to this salvation one at a time. **Acts 8:26-27a Now an**

angel of the Lord said to Philip, "Rise and go toward the south to the road that goes down from Jerusalem to Gaza." This is a desert place. And he rose and went. First, when it comes to timing. As I mentioned earlier, a revival was taking place in Samaria. I think Philip must have thought, "But why right now? When so many people are believing in Jesus and being saved, and the church has just started and we are busy with all kinds of things..." Also, the location. The place where Philip was sent, the road from Jerusalem down to Gaza, has nothing, as the passage says, "a desert place". If I went to Yokohama Station or Minato Mirai, I might happen to see someone, but not in the desert. From a human perspective, the place where Philip was told to go was not a place where a person who wanted to preach the gospel would go. I, for one, would think, "I want to be in Samaria, where the revival is happening!"

The person who was saved is also unusual. Let's continue. **Acts 8:27b-28** And there was an Ethiopian, a eunuch, a court official of Candace, queen of the Ethiopians, who was in charge of all her treasure. He had come to Jerusalem to worship and was returning, seated in his chariot, and he was reading the prophet Isaiah. This Ethiopian Minister of Finance was a Gentile, this means he was not a Jew, and he was also a eunuch. Ethiopia would have been "the end of the earth" for Jews. In Judaism, Gentiles were regarded as beyond salvation and eunuchs, castrated men, were not even allowed at Jewish gatherings. In other words, this Ethiopian eunuch was someone every Jew would think that could not be saved. They would think "This man cannot come near to God. It's impossible for him to be saved." The timing, place, and situation of the meeting between Philip and the eunuch simply cannot be understood from a human perspective. Nevertheless, God sent Philip into the desert as a witness just as the eunuch's chariot was passing through, and the eunuch was saved when he heard the gospel. So, the Gospel reached "the end of the earth" right after it reached Samaria. This is definitely something Philip was not expecting. God uses us in ways that are beyond our understanding. **God sends his witnesses in his perfect ways for salvation.**

Fellow Christians, is God trying to use you in a way you didn't expect? Even if you're thinking, "This place? This timing? This situation? This person?" Let's live with an awareness that we are God's witnesses. The first fact about how God uses witnesses is: **God sometimes uses witnesses in ways they themselves don't really understand.**

Now let's move on to the second fact. **God uses witnesses.** This may seem obvious, but isn't it amazing that God goes out of his way to use us? God is omniscient and omnipotent. He didn't have to use Philip. And yet God chooses to use witnesses. God gives us a VIP seat to the miracle of people being saved by believing in Him. It is a great joy, a great privilege to be able to be a part of someone's salvation and to see it happen right before our eyes! Let us look at today's passage to see what we can do to become witnesses who are more readily used by God. **Acts 8:30-31; 34** So Philip ran to him and heard him reading Isaiah the prophet and asked, "Do you understand what you are reading?" And he said, "How can I, unless someone guides me?" And he invited Philip to come up and sit with him...And the eunuch said to Philip, "About whom, I ask you, does the prophet say this, about himself or about someone else?" "About whom, I ask you, does the prophet say this, about himself or about someone else?"

Things to remember as we witness

1. Find out what the person you are witnessing to needs.

First, Philip asks, "Do you understand what you're reading?", right? He is figuring out what the Ethiopian eunuch needs. When we have people who we want to be saved, first we need to know what their situation, problems, questions, and needs are. I personally don't think it's a good approach to suddenly ask them, "If you die now, you will go to hell. Are you ready for that? Now, do you want to believe in Jesus?" Instead, listen to people. Ask thoughtful questions. What do they like? What do they not like? What hurt them? What makes them angry? What do they fear and what do they want? What are their big questions? Try to understand. Actually, the eunuch was reading Isaiah 53 and didn't understand, so he asked Philip about it.

Let's keep reading. **Acts 8:35 Then Philip opened his mouth, and beginning with this Scripture he told him the good news about Jesus.** After listening closely, Philip opens his mouth for the first time. This is the second thing to keep in mind as a witness.

2. Find out what is needed, then present the Gospel.

Philip starts with Isaiah 53 and then he preaches the gospel only after he understands what the Ethiopian eunuch wants to know. Listening alone is not enough. In order to preach the Gospel in a way that scratches where it itches you actually need to know the Gospel. Get to know the Gospel better. Speak the Gospel to yourself every day. This church also has a lot of resources to help you better understand the gospel. Resources such as Gospel-Centered Life are available. Get one and read it alone or together with someone else. You could also watch the series on Acts, called "Walking in the Gospel" available on Youtube.

Let's look at the third thing to remember as we witness.

3. Know that you are part of a team.

There is another aspect of the eunuch's salvation that is worth noting. It says that when Philip preached the gospel, the eunuch immediately believed, was baptized, and went home rejoicing. Some of you might think, "People don't believe that easily!" But I personally think that Philip probably just happened to be the person to reap this harvest. In order for someone to receive salvation, the field of one's heart needs to be plowed, seeded, and watered before being harvested. Some people believe in Jesus in the blink of an eye, while others are saved after years of being involved with various Christians and hearing the gospel over and over again. Especially in Japan, a person sows seeds in a field that someone else plowed long ago, and later someone else comes to water and several different people are involved before the harvest. Some people come to this church and say things like, "I used to go to a Christian kindergarten!" Or, "I learned about the Bible when I was on homestay!" Or "I used to have a Christian friend!" and eventually they are saved. We may not know what phase someone is in when we are witnessing to that someone, but even so, let's show the love of Jesus as part of a team. Even if you think, "this person doesn't seem very interested in Jesus!" Don't be disappointed, but listen to them with love, share the gospel with them when you have a chance, and expect God to send the next player. Let's keep these three things to remember in mind. Because God has sent you as a witness. **God uses witnesses.**

Now let's look at the third fact about how God uses witnesses. **God orchestrates everything for salvation.** In today's passage, we see that Philip is not making his own decisions and acting on them; he is following God. Let's read. **Acts 8:26, 29 Now an angel of the Lord said to Philip, "Rise and go toward the south to the road that goes down from Jerusalem to Gaza." This is a desert place...And the Spirit said to Philip, "Go over and join**

this chariot." You can see that God himself is at work for the salvation of the eunuch. It is God who takes initiative in a person's salvation. We don't have to feel any weird pressure. What is required of us is to follow God's promptings and to witness. Whether that person believes or not is not our responsibility, it's God's role. When I lived in Chicago I used to work at Starbucks, and Mike, the District Manager for our store, used to show up at the store where I worked quite a bit. He was not a Christian, but one day he said to me, "Akira, you're a really good employee. And other students from your seminary also work at a lot of other Starbucks stores, and they're all good employees. Why is that?" If I said, "It's because we believe in Jesus!" then I would have had an opportunity to talk about Jesus! How often does a non-Christian ask a question like this that you are desperately waiting for?? But in that moment I wasn't thinking straight and I said, "Yeah, well, we're all trying our best to be good people!" What a mistake! A huge failure. I was a little disheartened, but I think God was cultivating Mike's heart through various people, including myself, and that he will continue to send witnesses. Because, **God sends his witnesses in his perfect ways for salvation.** That's who he is. Let's trust in God, be aware of our role as witnesses, and be prepared to live as God's witnesses each day.

One thing I would like you all to do this week is to actually try and write out your testimony of how you came to know Jesus. Let's be prepared for when someone asks, "So why are you a Christian?" Also, after you leave today, please think of four people you can think of to invite to Church in the next month. Start by setting aside 30 seconds a week for evangelism. Then invite someone to church, one person a week, four people a month and try to keep that up. Let us live as witnesses of Christ.

Now, after hearing all this, some of you who are not Christians might be thinking, "No, there is no way I can believe in Jesus." You might be thinking, "God doesn't love me," "I am not worth it. "Even God can't forgive me for my sins." Or, "It's impossible for me to love or believe in God." But God loves you, God's grace is directed toward you, and He will send you the witnesses you need. The fact that you are here now is an evidence that God is already trying to draw you to Himself. Think about that for a minute. Also, let's take a look at the passage that the eunuch was reading. It was Isaiah 53, where the prophet Isaiah prophesied 700 years before Jesus was born about the Messiah who would eventually appear. **Acts 8:32b-33** "Like a sheep he was led to the slaughter and like a lamb before its shearer is silent, so he opens not his mouth. In his humiliation justice was denied him. Who can describe his generation? For his life is taken away from the earth." This passage clearly prophesies about Jesus. Although Jesus was innocent, he was unjustly put on trials by the Jewish religious leaders and executed on the cross like a criminal without defending himself. Why didn't Jesus just open his mouth and say he was innocent? Why did Jesus accept being humiliated? Why did Jesus die? It was to save you from the penalty of sin. We humans are unable to atone for our sins on our own and are subject to God's wrath, so Jesus took the punishment for our sins through his death on the cross. But the story doesn't end with Jesus' death; After three days he rose again and is still alive today. And if you choose to believe in Jesus as your Savior, you too will be saved. Please believe in Jesus. If you are interested in learning more about Jesus after listening to this message, you can talk to me, any deacon, Sunday School teacher or member of this church. Also, this week try asking a Christian you know how they became a Christian. **God sends his witnesses in his perfect ways for salvation.** Let's Pray.